

生麦中だより

令和4年(2022) 4月【1号】

「互いを認め合い幸せをつくる」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

「目標がその日その日を支配する」 ～新年度に感じること～

校長 山口 毅

240名の新入生を迎え、横浜市立生麦中学校の令和4年度が始まりました。全校生徒723名で、今までの輝かしい歴史と伝統に加え、新しい校風づくりに、一人ひとりが主役となつて、充実した中学校生活を送ることを願っています。

入学式で新入生代表として寺尾葉月さんが「新入生誓いのことば」を述べてくれました。その言葉に以下の一節がありました。

【～略～】

新しい友達ができるだろうか、勉強はついていけるだろうか、コロナで行事がなくなってしまうのではないかと不安はつきません。しかし、本日このように入学を迎えることができとても感動しています。私たち新入生のためにこのような式を挙げいただき誠にありがとうございます。

一か月前までは、登校班で班長として先頭に立ち、一年生を並ばせて歩いていました。しかし、今日は生麦中学校の坂を友人とのぼって登校してきました。こうしてひとつずつ中学生になっていることを実感していくのだと思いました。【～略～】

これからの三年間、生麦中学校で過ごす日々の中で、勉強はもちろん、部活動、委員会活動においても積極的に取り組み、生麦中学校に貢献できるように努め、新たな経験を通して多くのことを学びたいと思います。【～略～】

私たち新入生一同は生麦中学校の生徒として誇りをもち、生麦中学校の伝統と歴史を守ってこられた先輩方に恥じることがないようひとつひとつの行動に責任をもち、自立した中学校生活を送ることができるよう心がけていきたいと思います。今日出会った仲間と共に、コロナだからと言って諦めるのではなく、この時代だからこそできることを考え、楽しい学校生活を送っていきます。そして、自分たちの夢に向かってともに成長していきます。

なんと素敵な寺尾さんの「ことば」でしょう。

中学生としての不安、コロナ禍での不安、その不安の中にあっても、入学式を迎えることができることへの感謝、加えて迎える先生方を含めた皆さんへの感謝の言葉。小学校とは違う登校に、少しずつ中学生になっていく実感と生麦中学校で出会う多くの学びについて、伝えてくれました。また、自立した生麦中学校の生徒として、自覚と誇りをもち、ひとつひとつの行動に責任をもち、自分たち夢に向かって成長していくことを伝えてくれました。

【誓いの言葉を受けて】

私は、新入生に対し「今日から、生麦中学校の“宝”である」と述べました。感染拡大防止の状況下、子どもたちに負担が集中することのないよう、「誓いの言葉」の思いをしっかりと受け止め、子どもたちの成長のために、教職員一同真摯に取り組んで参ります。本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

生まれたばかりの赤ちゃんは、小さな手をぎゅっと結んでいる。右手に夢を、左手に運命の人の名を握っているから・・・でも、生まれた瞬間に手を開いてしまうから飛んでいってしまう。だから人は夢や運命の人を追い求め、生きていくのだ。【毎年、入学時期に思い浮かべる言葉です。】



学校教育目標

「コミュニケーション能力を身に付け、主体的に学習する生徒を育てます。」

- 思いやりの気持ちを大切に、心の豊かさを育みます。 【徳】
- 向上心を持ち、麦のようにたくましく生きる力を高めます。【知・体】
- 想像力を豊かにし、社会に貢献する姿勢を養います。 【公・開】

中期学校経営方針 取組目標

◆「想像する力」、「やりとげる力」からなる「”自立のための基礎力”」を育成します。

- 互いを認め合い、コミュニケーションを発揮する力、関係を理解する力を育成します。
- 授業づくり(改善)の視点を充実し、生徒が主体的に学習に取り組む態度を育成します。
- 地域活動に積極的に参加し、「まち」とのつながりを強め、地域社会に貢献できる力を育成します。

●カリキュラムマネジメントを通して、学校教育力の向上を目指します。

・「自立のための基礎力」(「想像する力」+「やりとげる力」)の育成を目指します。

・「想像する力」の要素

➡「先を読む力(計画力)」「伝える力(発信力)」

「聴く力(傾聴力)」「関係を理解する力(状況把握力)」

・「やりとげる力」の要素

➡「進んで取り組む力(主体性)」「あきらめない力(実行力)」「ルールや約束を守る力(規律性)」

離任退任された教職員

◆離任職員

教諭 中野 怜 あかね台中学校へ
教諭 中野 肇 南が丘中学校へ
初任者指導教諭 宮下 美奈 鶴見中学校へ
スクールカウンセラー 徳永 みちる 港北区へ
教諭 朝比奈 忍 港南台第一中学校へ
教諭 一寸木 幸代 南中学校へ

◆退任職員

教諭 松岡 浩一 退職
教諭 鈴木 あかり 退職
非常勤講師 栗原 健 退職
サポート非常勤講師 足立 康久 退職
保健室支援講師 金箱 紗奈 退職

着任された教職員

主幹教諭 八木 克彦 (英語) 洋光台第一中 より
主幹教諭 福間 道元 (個別支援) 西中学校 より

初任者指導教諭 高島 和夫 東山田中学校 より

教諭 田中 陸央 (個別支援) 新採用
教諭 濱名 海帆 (数学) 新採用
教諭 吉田 孟徳 (技術) 新採用
教諭 成澤 優雅 (個別支援) 潮田中学校より

非常勤講師 足立 康久 (学年サポート)
非常勤講師 原田 優 (音楽)
非常勤講師 山本 幸代 (美術)
スクールカウンセラー 加藤 美奈
英語アシスタント講師 スィーブン リー シルバ AET

表題 「目標がその日その日を支配する」について

始業式で進級した3年生には、「志を持って、前向きに挑戦する年としてもらいたい」とお願いしました。

2年生には、「自分と向き合う年にしてもらいたい、そのためには人の話をしっかり聴くこと」ができる生徒になってもらいたいと伝えました。

1年生には、入学式に於いて、「自分を大切に、学習して自分を鍛えてもらいたい」旨を話しました。

この生麦中で学ぶ皆さんは、どのような目標を持ち、日々の勉強や部活動等に励んでいるのでしょうか。

毎日の学習や友だちとのふれ合い、校外行事での感動体験などを経て、多くを学びながら着実に成長しているあなたたちです。

皆さんの目の前で起きる日々の様々な出来事に、いかに興味・関心を高め取り組むことができるか、この点の意識の差が、結果と直結するのだと思っています。

短く言えば、保護者の皆さんと私たち職員はあくまでも生徒たちのサポーターに過ぎないのかもしれませんが。

私たちは、いかに感動の場面を用意できるか、いかに確固たる目標を持たせることができるか。そして、感動を得た皆さんが自ら、目標に向かって努力していくのだと信じています。

大正時代の社会教育家、後藤静香（せいこう）に「第一歩」という詩があります。

『第一歩』

十里の旅の第一歩
百里の旅の第一歩
同じ一歩でも覚悟がちがう
三笠山にのぼる第一歩
富士山にのぼる第一歩
同じ一歩でも覚悟がちがう
どこまで行くつもりか
どこまで登るつもりか
目標が
その日その日を支配する

後藤静香

(※一里は約3.9km
三笠山342m、富士山3776m)

習い事、勉強、部活動、何をするにしても、一日一日の積み重ねです。

その日一日をどう過ごすかという「覚悟」の差が最終的に学習でいえば定着度合いを、部活動であれば、試合の勝敗を決することになるのではないのでしょうか。

明確な目的意識を持つか持たないかで、同じ学習時間でも、同じ練習量でも違いが出てくるに違いないと思います。

3年間という限られた中学時代という時間を生麦中の生徒たちは、どのような覚悟で過ごしていくのでしょうか。三笠山に登ろうとするのか、はたまた、富士山に登ろうとするのか。

できることなら、覚悟のある一歩を踏み出してほしいと思います。そして、その一歩に続く次の歩みを止めないでほしいものです。

自分の目標を決め、覚悟が定まれば、その日に行う学習の内容や練習の内容、それらに向かう態度が決まらるでしょう。

どうか、覚悟の第一歩を踏み出せる生麦中学校の生徒であってほしいと思います。

君たちなら、できると思います。

◆令和4年度就学援助制度について◆

お子さんを通学させるのに経済的な理由でお困りの方に対して、学用品費等を援助する制度があります。希望される方は4/7もしくは8に配布した申請書をご提出ください。

紛失された場合は再度用紙をお渡しいたしますので、事務室までご連絡ください。

・認定基準は令和3年の所得が

下表の限度額以下の方

世帯人数 [▽]	2人 [▽]	3人 [▽]	4人 [▽]
世帯の総所得 [▽]	250万円 [▽]	303万円 [▽]	344万円 [▽]
	5人 [▽]	6人 [▽]	7人 [▽]
	396万円 [▽]	442万円 [▽]	500万円 [▽]

